



帝京平成大学
オープンキャンパス

薬学部

楽しく学ぼう！

2023 08 19

模擬授業

体験実習

オープンラボ

ガイド

薬学部・オープンキャンパス タイムスケジュール

- ◆ 薬学科のご説明 (是非ご参加ください) (3階 303教室)
10:10~10:40 12:50~13:20
- ◆ 模擬授業 (3階 303教室)
「痛み止めの科学」
10:40~11:00 13:20~13:40
- ◆ 体験実習 (4階 436 SGDルーム)
「くすりの正しい使い方 (薬育)」
映像や写真で見る薬学生ができる薬育・薬物乱用防止教育
10:00~15:00
- ◆ オープンラボ (3階 315研究室)
「有機化学の実験室を覗いてみよう」
10:00~15:00
- ◆ 学生交流・進学相談 (5階 アリーナ)
「薬学部のこと、薬剤師のこと、なんでも訊いてみよう」
10:00~15:00

その他 (全学部共通)

入学者選抜制度説明	2階 225教室	11:10~11:50	13:50~14:30
面接対策講座	1回目 2階 225教室	12:00~12:30	
	2回目 2階 203教室	13:50~14:20	
食堂体験	1階 学生食堂	11:00~15:00	
		(ラストオーダー 14:00)	

以下は10:00~15:00

個別相談 (入学者選抜・奨学制度)	5階 アリーナ
就職相談	1階 就職支援室
メディアライブラリーセンター (図書館) 見学	8階 メディアライブラリーセンター (図書館)
キャンパスツアー	1階 103パソコン演習室集合
薬用植物園見学	7階 エレベーター横

模擬授業

10:40~11:00 13:20~13:40

303教室（3階）

痛み止めの科学

人類は古代から痛みを悩まされてきました。痛み止めの歴史を振り返りながら、現在使われている鎮痛薬について解説します。この模擬授業では、鎮痛薬が痛みを和らげる仕組みや痛み止め以外の適応、副作用などの問題点について分かり易く解説しますので、鎮痛薬に対する理解を深めていただけたらと思います。



教授 中谷 良人

膜機能ユニット

東京大学大学院薬学研究科修士課程修了、博士（薬学）。昭和大学薬学部を経て、現在に至る。研究テーマは、「体内で作られる生理活性脂質の産生酵素の解析」。

私たちの身体の健康を保つために働いている物質の中には、脂質から作られるものがあり、痛みや発熱、炎症などの病態にも関係しています。

くすりの正しい使い方（薬育）

映像や写真で見る薬学生ができる薬育・薬物乱用防止教育

会場：SGDルーム（4階 436）

10:00～15:00（見学は自由です）

医薬品医療機器等法のなかで、国民の役割として、「国民は、医薬品等を適正に使用するとともに、これらの有効性及び安全性に関する知識と理解を深めるように努めなければならない。」との条文があることはご存知ですか。

くすりは正しく使用しなくてはなりません。また薬がどうして効くのかが分かると、薬物乱用の恐ろしさが分かります。薬学部の学生が、小・中学校や、地域のイベントで薬育及び薬物乱用防止教育を行っている様子を、映像や、写真でご覧ください。

会場では、薬育・薬物乱用防止教育を行った薬学部の学生が説明します。

薬学部の学生が、中学生に薬育・薬物乱用防止教育を行っている様子



担当教員

社会薬学教育研究センター
渡邊伸一、野村香織

オープンラボ

薬学のラボを体験しよう！！

有機化学の実験室を覗いてみよう

会場 専門ラボ1 (3階 315)

時間 10:00 ~ 15:00 (見学随時)

医薬品の多くは分子量が数百程度の有機化合物で、いずれも有機合成や天然物探索の手法によって見つかってきました。

医薬品の薬理作用を理解するためには、有機化学を基盤とした分子レベルでの知見は欠かせません。

私達は、医薬品の候補となりうる薬理活性物質を有機合成によって探索したり、それらの合成法を開発したりしています。

今回のオープンラボでは、有機化学の実験でよく使用される
①パーソナル有機合成装置、②クロマトグラフによる有機化合物の分離装置など、私達の研究現場の日常をご覧ください。



パーソナル有機合成装置
同時に複数の化学反応を実施できる装置



中圧分取クロマトグラフィー
混合物から化合物を分離するための装置



核磁気共鳴装置 (NMR)
有機化合物の構造を決定するための装置
(本装置は別室となります)

担当教員 医薬有機化学ユニット
赤木 祐介 岩崎 絵理佳